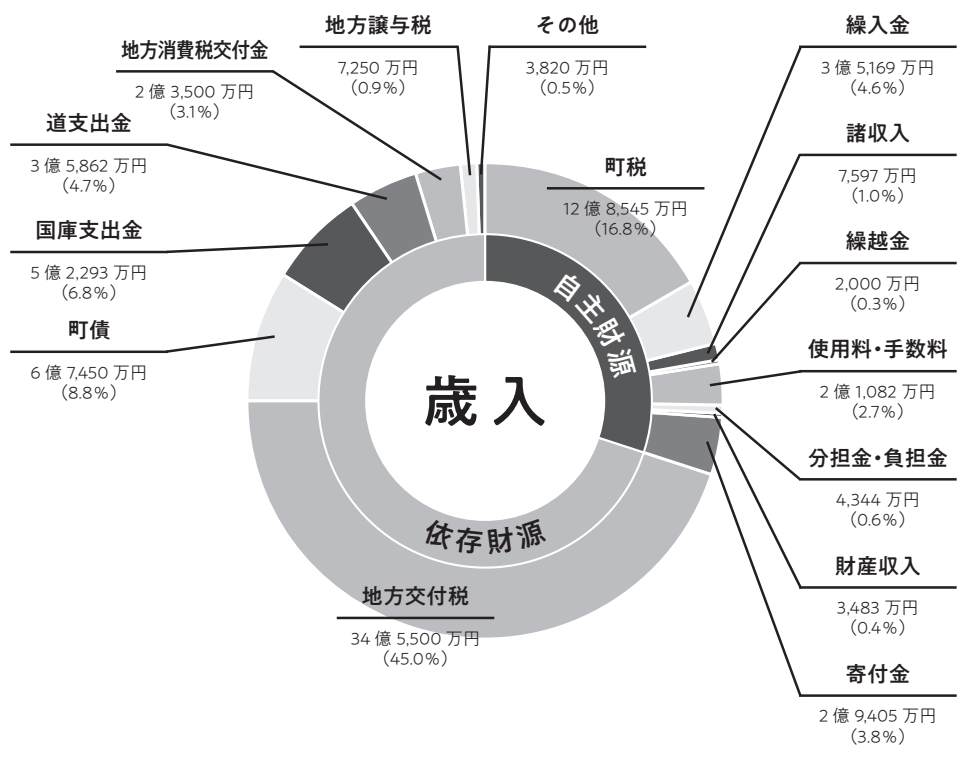


まちの予算

令和8年度当初予算は、任期満了に伴う町長選挙の年であることから、経常的経費を中心に「骨格予算」として編成しましたが、町民の暮らしを守り、安定した行政サービスを確保するため、医療・福祉、防災・減災などの安心・安全対策や子育て・教育分野への支援、そのほか行政の継続性を必要とするものを計上しました。

なお、厳しい財政状況のため、歳入不足を補うために財政調整基金（町の貯金）の取り崩しを見込み予算編成を行いました。

■問合せ 企画財政課財政係
（☎74-3004）



一般会計

76億7,300万円

前年度比
6億2,100万円(7.5%)減

歳入は、令和8年度に導入予定の宿泊税において増額とし、町税全体で前年度比69.15万円、5.7%の増額、地方交付税は令和7年度国勢調査の人口減少などを勘案し、前年度比1億7,500万円、4.8%の減額を見込みました。国庫支出金では、主に自治体情報システムの標準化に係るデジタル基盤改革支援補助金などの減により、前年度比2億4,350万円、28.1%の減額、寄付金は、洞爺湖マラソンや北海道トリアスロンに係るふるさと納税寄付金の増額を見込み、前年度比190万円、0.6%の増額で計上しました。歳出では、必ず支出しなければならぬ義務的経費

のうち人件費、扶助費及び公債費が増となっています。主な投資的事業としては、(仮称)あぶた保育所建設事業、公営住宅の長寿命化計画事業など昨年度からの継続事業を中心に計上しました。子育て支援については、子どもを安心して生み育てられる環境整備の充実を図ることを目的に、出産祝い金の支給、保育所保育料の完全無償化、子ども医療費(高校生以下)無料化などを引き続き計上しました。

また、学校給食費の公会計に伴い、食材購入に係る費用を新規で計上しています。

▼特別会計

国民健康保険特別会計は、事業費納付金などの減少に伴い、前年度比3710万円、3.1%の減額。

介護保険特別会計は、職員人件費などの増加に伴い、前年度比3200万円、2.5%の増額。

後期高齢者医療特別会計は、後期高齢者医療広域連合納付金が増額となり、前年度比3108万円、15.4%の増額。

用語解説

■ 一般会計

町の会計の中心となるのが一般会計です。行政運営の基本となる経費の全てを計上したもので、町行政の目的を達成するために必要な経費を経理する会計です。行政サービスのほとんどが、一般会計で賄われています。

■ 特別会計

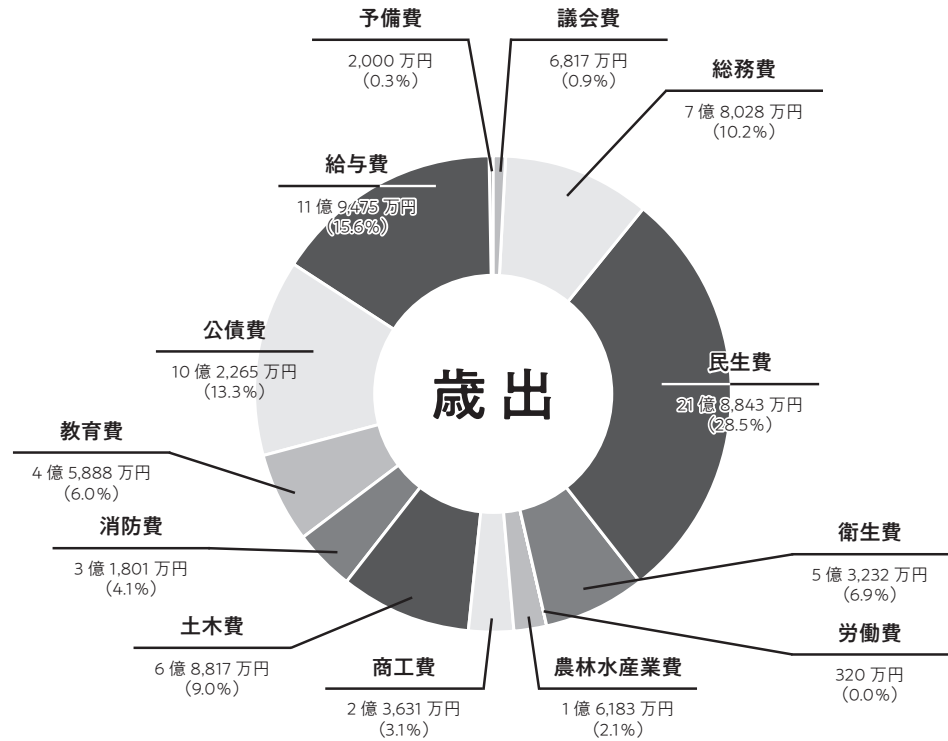
特別会計は、町が特定の事業を行う場合、その他特定の収入を特定の支出に充て、一般の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合など、一般会計と分けて町が条例で設置することができるとを言います。洞爺湖町には、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の3つの特別会計があります。

■ 企業会計

企業会計は、独立採算制を原則とする、一般的には、株式会社などの民間企業における会計をいうもので、民間企業に近い事業を行う場合に設置される会計で、水道事業、簡易水道事業、公共下水道事業の3つの会計がこれに該当します。

「骨格予算」

首長選挙を控えた自治体が最低限必要な経費を盛って編成する予算のことをいいます。選挙後の補正予算において、新しい首長の政策的な意向を反映させた事業を加える「肉付け予算」が編成されることとなります。



令和8年度 会計別予算額

(単位：万円、%)

会計名	令和8年度 予算額	令和7年度 予算額	増減額	増減率
一般会計	76億7,300	82億9,400	△6億2,100	△7.5
特別会計	27億2,949	27億351	2,598	1.0
国民健康保険	11億6,360	12億70	△3,710	△3.1
介護保険	13億3,350	13億150	3,200	2.5
後期高齢者医療	2億3,239	2億131	3,108	15.4
水道事業会計				
収益的収支	2億9,460	2億9,421	39	0.1
資本的支出	2億5,883	2億7,559	△1,676	△6.1
簡易水道事業会計				
収益的収支	9,250	8,962	288	3.2
資本的支出	1億307	1億537	△230	△2.2
公共下水道事業会計				
収益的収支	6億7,840	6億7,898	△58	△0.1
資本的支出	5億4,662	4億3,601	1億1,061	25.4
合計	123億7,651	128億7,729	△5億78	△3.9

▼ 公営企業会計

水道事業会計は、減価償却費の増加などにより、収益的収支が前年度比39万円、0.1%の増額。資本的支出は、建設改良費の減少により、前年度比1676万円、6.1%の減額となりました。

公共下水道事業会計は、資産減耗費等の減少などにより、収益的収支が前年度比58万円、0.1%の減額。資本的支出は、建設改良費の増加により、前年度比1億1061万円、25.4%の増額となりました。

3つの特別会計を合わせた予算総額は27億2949万円となり、前年度比1.0%の増額となりました。

費などの増加により、収益的収支が前年度比288万円、3.2%の増額。資本的支出は、建設改良費の減少により、前年度比230万円、2.2%の減額となりました。

一般会計の主な事業

1 子育て支援

- ▶ 子ども医療費助成事業（高校生以下の医療費無償化）…1,305万円
- ▶ 出産祝金給付事業…290万円
- ▶ 子どもインフルエンザワクチン接種事業…176万円
- ▶ 保育料無償化事業…486万円
- ▶ ファミリー・サポート・センター事業…564万円
- ▶ 高校生通学費等助成事業…680万円



2 生活基盤の整備

- ▶ 橋梁長寿命化計画に基づく修繕工事…2,600万円
- ▶ 町営住宅維持管理・修繕…1億4,109万円



3 定住促進

- ▶ 地域おこし協力隊活動事業…2,979万円
- ▶ チャレンジショップ支援事業…301万円
- ▶ 住まいる中古住宅取得支援事業…250万円



4 地域の賑わいの創出

産業振興

- ▶ 多面的機能支払事業補助…2,362万円
- ▶ 機能保全計画策定事業…3,000万円
- ▶ 漁業系廃棄物処理施設運営補助…2,000万円

商工振興

- ▶ 地域活性化支援事業…3,418万円

観光振興

- ▶ にぎわい広場イルミネーショントンネル事業…400万円



5 教育環境の充実



- ▶ 小中学校特別支援教育支援員・介護員配置事業…4,169 万円
- ▶ AIドリル導入事業…203 万円
- ▶ 虻田高等学校支援事業…491 万円
- ▶ 中学校部活動支援事業…216 万円
- ▶ ICT モニター更新事業…112 万円



6 その他の主な事業

- ▶ 虻田地区コミュニティバス運行補助事業…6,499 万円
- ▶ デマンド交通委託事業…2,351 万円
- ▶ デジタル地域通貨（とうやコイン）運営事業…702 万円
- ▶ 地域活性化企業人派遣事業…1,585 万円
- ▶ （仮称）あぶた保育所新築事業…4 億 9,684 万円
- ▶ ふれ合いセンター音響機器更新事業…212 万円
- ▶ 給食センター食材購入事業…3,821 万円
- ▶ 西いぶり広域連合旧中間処理施設解体事業…9,084 万円



地方債(借金)の残高

(単位：万円)

	令和 6 年度	令和 7 年度 (見込)	令和 8 年度 (見込)
一般会計	85 億 3,754	87 億 3,786	84 億 5,630
水道事業会計	10 億 9,230	11 億 5,774	12 億 2,718
簡易水道事業会計	3 億 7,362	3 億 8,119	3 億 9,310
公共下水道事業会計	17 億 8,299	16 億 7,383	17 億 5,033
合計	117 億 8,645	119 億 5,062	118 億 2,691

基金(貯金)の残高

(単位：万円)

	令和 6 年度	令和 7 年度 (見込)	令和 8 年度 (見込)
財政調整基金	12 億 1,734	13 億 3,733	11 億 5,428
減債基金	1 億 9,327	2 億 630	2 億 700
特定目的基金	17 億 1,455	19 億 5,363	19 億 9,088
合計	31 億 2,516	34 億 9,726	33 億 5,216

